

授業科目名	保健医療情報学		科目コード	201032		
開講クラス	診療情報管理士科	コース	コース	学 年	2年	
担当教員	非常勤講師		実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無)			
	実務経験内容 診療情報管理士として複数の病院に勤務後、医療コンサルタントとして活動している経験から、医療 I C T の進展に伴い必要となる知識を理解させる授業を行う					
開講時期	前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	30時間		
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必修		単 位 数	1単位		
使 用 テキスト 1	書 名	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ				
	著 者	一般社団法人日本病院会				
	出版社	株式会社日本病院共済会				
使 用 テキスト 2	書 名	診療情報管理士教育問題集 専門課程編				
	著 者	一般社団法人日本病院会				
	出版社	株式会社日本病院共済会				
参考図書						
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習					
<授業の目的・目標> ・医療情報の電子化が進展し、医療機関内の情報化から地域医療の情報化へ、また、医療のみならず保健・医療・介護・福祉分野の I C T による情動的連携が実現しつつある。I C T を活用して有効かつ的確に診療情報を管理・二次利用するための知識を得ることを目的とする						
<授業の概要・授業方針> ・保健医療情報の情報科学的認識、保健医療の情報化の動向、医療情報システムの実際、医療情報の標準化の動向、診療情報のセキュリティ管理、個人情報保護法などについて学習し、I C T を活用した的確に診療情報管理がいかに保健医療の質の向上に貢献しているかを学び、理解する。						
<成績基準・評価基準> ・成績基準 優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：59点以下 ・評価基準 ①小テスト、授業態度、提出物：20% ②期末試験：80%						
<使用問題集・注意事項>						
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他> ・関連科目 「医療事務」、「医師事務作業補助」						

授業科目名		保健医療情報学
回	授 業 内 容	備 考
1	保健医療情報学 ①情報の概念	
2	②保健医療情報学とは	
3	③保健医療情報学と診療情報管理士	
4	医療情報の特徴と種類 ①医療情報と診療情報	
5	②診療情報の種類と特性	
6	③診療情報の一次利用と二次利用	
7	行政が進める保健医療の情報化政策 ①保健医療の情報化政策の歴史と関連法規	
8	②今後の方向性	
9	医療情報システム	
10	①医療情報システムとは ②病院情報システム概論	
11	③部門の業務を支える情報システム	
12	④オーダエントリシステム（オーダリングシステム）	
13	⑤電子カルテシステム	
14	⑥地域医療情報システム	
15	診療情報の二次利用 ①データウェアハウス	
16	②医療ビックデータ	
17	③治験 ④次世代医療基盤法の成立 ⑤診療情報管理士の役割	
18	個人が管理する保健医療記録 ①EHRとPHR	
19	②実装の動向	
20	医療情報の標準化 ①標準化の枠組み	
21	②医療情報の伝送・交換のための標準化	
22	③医療情報分野における用語・コードの標準化	
23	④ICD10 対応標準名マスター	
24	⑤保健医療情報分野の標準規格（厚生労働省標準規格）	
25	保健セキュリティ ①診療情報の安全管理	
26	②医療情報システムにおけるセキュリティ対策	
27	③医療情報システムの安全管理に関するガイドライン	
28	④医療情報システムの安全管理	
29	⑤診療情報管理士として実践すべき事項	
30	保健医療の情報化のこれから	